

の
地
層
学

日
本
ら
し
さ

平
山
朝
治

情況出版

「日本らしさ」の地層学

〔目次〕

序章	歴史の地層を読む……………	5
一章	仏教による普遍的なものの開花……………	19
1	自由民による支配者選択の伝統……………	20
2	中華帝国の藩王としての大王……………	31
3	聖徳太子とは何者か……………	45
4	国家神道は護国仏教の邦訳版……………	54
5	仏教による荒ぶる神々の鎮撫……………	72
二章	「日本らしさ」のなかの普遍性……………	89
6	普遍と特殊が天皇制で交錯する……………	90
	□道鏡はなぜ天皇になれなかったのか……………	
	□律令制から市民社会が生まれる □開かれた民族意識の形成……………	
7	思想史的巨人としての空海……………	110
	□世界的知性の誕生 □慈悲は日輪のごとく遍照する……………	

8 〔三〕異端も異教も包摂する 〔四〕自然も大日如來の化身である
恕しの契機を孕む怨靈思想……………147

〔一〕物のあはれの起源 〔二〕輪廻転生説が怨靈思想を紡ぎ出す

〔三〕魔女狩・妖術・憑きものとの違い 〔四〕無意識の発見

〔五〕文明開化と西欧的二元論の流入

三章 変容する「日本らしさ」……………191

9 莊園制の下での文明の成熟……………192

10 日本のなタテ関係の「やさしさ」……………201

11 慈悲は法より優先される……………216

12 産業発展の求心性という伝統……………236

13 一揆と革命の違い……………249

14 神道は「日本らしい」か……………264

終章 「日本らしさ」の現代的意味……………275

あとがき